

◆西粟倉村「100年の森構想」の見学会

かおる会の皆さん、暑中お見舞い申し上げます。11期の江見です。「おかざき自然体験の森」の整備作業ボランティア「きこりの会活動」の第3報を投稿します。

平成27年7月25・26日に、全国的に脚光を浴びている地域再生事業「西粟倉村100年の森構想」について勉強と観光を目的に、岡山県西粟倉村と美作市（江見の故郷）の「武蔵の里」をマイクロバスにて1泊2日の日程で訪問してきました。

訪問先の岡山県西粟倉村とは、人口1,600人、面積58km²、面積の95%が森林という小さな村です。この村は平成の大合併時（2004年）に、隣の美作市と合併せずに森林で自立の道を歩むという大きな決断をしたのです。なぜ、こんな大胆な決断をしたのか、大変興味を引かれたのです。



◆100年の森構想



地域には捨ててはいけなな物があります。苦勞を重ねて地域を守ってきた先人のため、これから生きていく子どもたちのため、そしてこの地域に愛着をもち関わって下さるたくさんの方々のため。約50年前に、子や孫のためにと、木を植えた人々の想い、その思いを大切に、立派な百年の森に育て上げていく。そのためにあと50年、村ぐるみで挑戦を続けようと決意しました。西粟倉村は人口1,600人程の源流域の小さな村です。このような小さな村だからこそ、未来に向けて心と心を丁寧に繋ぎ合わせていくことが出来るはず。世代を越えて、そして地域を越えて、未来への想いを共有する森づくりへ。そして、大切な自然の恵みを大切な人たちと分かち合う上質な田舎づくりへ。

(西粟倉村の案内カタログより)